



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 ジャパンベストレスクューシステム株式会社

コード番号 2453 URL <https://www.jbr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若月 光博

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 竹内 達哉

TEL 052-212-9908

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	4,360	△2.4	442	17.8	433	25.5	56	△57.0
2023年9月期第1四半期	4,469	3.2	375	△7.1	345	△6.5	131	△58.7

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 251百万円 (144.3%) 2023年9月期第1四半期 103百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	1.72	1.41
2023年9月期第1四半期	3.96	3.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	27,726	11,294	35.8
2023年9月期	28,121	10,889	34.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 9,912百万円 2023年9月期 9,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
2023年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	9.00	—	0.00	9.00
2024年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

2023年12月27日に公表した「MBKP Vega株式会社及びMBKP Altair株式会社による当社株券等に対する公開買付けの結果並びに主要株主、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、公開買付け者が当社を非公開化することを企図していること、ならびに当社株式が上場廃止となる予定であることにより、事業の合理的な業績予想の算定が现阶段では困難なことから2024年9月期の業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	34,127,177株	2023年9月期	34,127,177株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	1,329,242株	2023年9月期	1,329,229株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	32,797,946株	2023年9月期1Q	33,110,136株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

2023年12月27日に公表した「MBKP Vega株式会社及びMBKP Altair株式会社による当社株券等に対する公開買付けの結果並びに主要株主、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、公開買付者が当社を非公開化することを企図していること、ならびに当社株式が上場廃止となる予定であることにより、事業の合理的な業績予想の算定が现阶段では困難なことから2024年9月期の業績予想は記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中東情勢やウクライナ情勢が緊迫する中、金融引き締めが続く米国経済が想定以上に堅調に推移したことが日本経済を下支えした一方、円安等に起因する物価上昇に賃上げが追いついておらず、実質賃金は前年比マイナスで推移しており、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける」という経営理念に基づき、「ありがとう」と言ってもらえる、安心・安全・快適なサービスを提供することで、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高は4,360,557千円（前年同期比2.4%減）、営業利益は442,039千円（前年同期比17.8%増）、経常利益は433,233千円（前年同期比25.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は56,361千円（前年同期比57.0%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の会員・保証事業における有効会員数は3,841千人、保険事業における被保険者数は721千人となっております。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 会員事業

主力サービスである「安心入居サポート」が順調に会員数を増加させたものの、一部顧客の解約が発生し、会員数が減少いたしました。一方では、統合効果により利益率が改善したことなどにより、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は、2,264,731千円（前年同期比7.7%減）となり、営業利益は285,632千円（前年同期比14.0%増）となりました。

② 保証事業

住宅設備の延長保証サービス「あんしん修理サポート」の販路拡大が奏功し、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は、495,345千円（前年同期比25.1%増）となり、営業利益は210,263千円（前年同期比50.6%増）となりました。

③ 保険事業

主力の家財保険「新すまいRoom保険」の契約件数の拡大が好調に推移したことに加え、スマホ保険・スポーツクラブ傷害保険の売上が寄与したことにより、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,476,030千円（前年同期比2.7%増）となり、営業利益は137,618千円（前年同期比16.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ469,785千円減少し、15,406,986千円となりました。これは主に、売掛金が48,290千円増加したものの、現金及び預金が545,970千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ71,697千円増加し、11,846,450千円となりました。これは主に、繰延税金資産が83,666千円、のれんが46,113千円減少したものの、投資有価証券が196,330千円増加したことによるものであります。

(繰延資産)

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は、前連結会計年度末と比べ2,802千円増加し、472,932千円となりました。これは主に、保険業法第113条繰延資産が3,163千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ3,492千円増加し、7,375,484千円となりました。これは主に、前受収益が83,921千円、未払法人税等が56,744千円、賞与引当金が39,972千円減少したものの、短期借入金が183,300千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ803,947千円減少し、9,056,202千円となりました。これは主に、一部繰り上げ返済により長期借入金が758,065千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ405,170千円増加し、11,294,683千円となりました。これは主に、利益剰余金が224,630千円、その他有価証券評価差額金が121,019千円、非支配株主持分が59,585千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関しましては、2023年12月27日に公表した「MBKP Vega株式会社及びMBKP Altair株式会社による当社株券等に対する公開買付けの結果並びに主要株主、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、公開買付者が当社を非公開化することを企図していること、ならびに当社株式が上場廃止となる予定であることにより、事業の合理的な業績予想の算定が現段階では困難なことから非開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,812,472	13,266,501
売掛金	934,171	982,461
商品	3,320	3,998
貯蔵品	11,628	17,642
その他	1,137,211	1,158,364
貸倒引当金	△22,033	△21,981
流動資産合計	15,876,771	15,406,986
固定資産		
有形固定資産	111,997	94,272
無形固定資産		
のれん	1,469,835	1,423,722
その他	589,157	587,126
無形固定資産合計	2,058,992	2,010,849
投資その他の資産		
投資有価証券	6,134,523	6,330,854
その他	3,500,473	3,439,016
貸倒引当金	△31,234	△28,541
投資その他の資産合計	9,603,762	9,741,328
固定資産合計	11,774,753	11,846,450
繰延資産	470,130	472,932
資産合計	28,121,655	27,726,370
負債の部		
流動負債		
買掛金	402,561	445,544
短期借入金	300,000	483,300
未払法人税等	183,293	126,548
賞与引当金	80,920	40,948
支払備金	120,737	123,811
責任準備金	1,336,937	1,359,972
前受収益	3,157,438	3,073,517
その他	1,790,101	1,721,841
流動負債合計	7,371,991	7,375,484
固定負債		
社債	345,000	345,000
長期借入金	1,124,544	366,479
資産除去債務	93,560	93,640
長期前受収益	8,096,779	8,052,487
その他	200,266	198,596
固定負債合計	9,860,150	9,056,202
負債合計	17,232,142	16,431,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	780,363	780,363
資本剰余金	6,936,834	6,936,783
利益剰余金	2,917,223	3,141,854
自己株式	△977,359	△977,372
株主資本合計	9,657,062	9,881,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△89,723	31,295
その他の包括利益累計額合計	△89,723	31,295
新株予約権	17,459	17,459
非支配株主持分	1,304,715	1,364,300
純資産合計	10,889,513	11,294,683
負債純資産合計	28,121,655	27,726,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,469,815	4,360,557
売上原価	2,827,610	2,632,833
売上総利益	1,642,204	1,727,724
販売費及び一般管理費	1,266,935	1,285,684
営業利益	375,269	442,039
営業外収益		
受取利息	2,096	2,684
受取配当金	16,507	18,636
投資有価証券売却益	11,446	18,640
その他	15,272	15,422
営業外収益合計	45,323	55,384
営業外費用		
支払利息	4,022	3,283
保険業法第113条繰延資産償却費	25,786	33,544
持分法による投資損失	41,204	16,933
支払手数料	3,249	465
その他	1,112	9,964
営業外費用合計	75,376	64,190
経常利益	345,216	433,233
特別損失		
固定資産除却損	3,121	15,975
減損損失	—	32,403
投資有価証券評価損	13,173	126,772
子会社株式売却損	6,497	—
その他	—	1,564
特別損失合計	22,792	176,715
税金等調整前四半期純利益	322,424	256,517
法人税、住民税及び事業税	58,001	99,370
法人税等調整額	89,688	31,076
法人税等合計	147,689	130,446
四半期純利益	174,734	126,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	43,624	69,709
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,109	56,361

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	174,734	126,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66,247	118,121
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,459	7,476
その他の包括利益合計	△71,707	125,597
四半期包括利益	103,027	251,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,776	177,380
非支配株主に係る四半期包括利益	31,250	74,287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	会 員	保 証	保 険	駆けつけ (注)5	計			
売上高								
一定の期間にわたり 移転される財及び サービス	2,049,893	326,597	—	—	2,376,491	8,191	—	2,384,682
一時点で移転される 財及びサービス	401,665	69,499	—	143,916	615,080	33,908	—	648,989
顧客との契約から生 じる収益	2,451,558	396,096	—	143,916	2,991,571	42,100	—	3,033,672
その他の収益(注)4	—	—	1,436,143	—	1,436,143	—	—	1,436,143
外部顧客への売上高	2,451,558	396,096	1,436,143	143,916	4,427,714	42,100	—	4,469,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	930	—	875	310	2,115	—	△2,115	—
計	2,452,488	396,096	1,437,018	144,226	4,429,830	42,100	△2,115	4,469,815
セグメント利益 又は損失(△)	250,540	139,594	117,980	△804	507,309	△17,473	△114,566	375,269

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、部材販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,566千円には、セグメント間取引消去935千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115,502千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、保険法(平成20年法律第56号)における定義を満たす保険契約による収入が含まれております。

5. 駆けつけ事業は、2022年11月30日に事業譲渡を行い、同事業からは同日をもって撤退しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	会 員	保 証	保 険	計			
売上高							
一定の期間にわたり 移転される財及び サービス	1,851,830	375,407	—	2,227,237	16,028	—	2,243,265
一時点で移転される 財及びサービス	411,551	119,937	—	531,488	110,606	—	642,094
顧客との契約から生 じる収益	2,263,381	495,345	—	2,758,726	126,634	—	2,885,360
その他の収益(注)4	—	—	1,475,197	1,475,197	—	—	1,475,197
外部顧客への売上高	2,263,381	495,345	1,475,197	4,233,923	126,634	—	4,360,557
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,349	—	833	2,183	—	△2,183	—
計	2,264,731	495,345	1,476,030	4,236,106	126,634	△2,183	4,360,557
セグメント利益 又は損失(△)	285,632	210,263	137,618	633,514	△11,753	△179,721	442,039

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、部材販売等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△179,721千円には、セグメント間取引消去1,172千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△180,894千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 4. その他の収益は、保険法(平成20年法律第56号)における定義を満たす保険契約による収入が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、駆けつけ事業を譲渡したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「駆けつけ事業」の区分を廃止しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式併合、単元株式数の定めの変更及び定款の一部変更)

当社は、2024年1月23日開催の取締役会において、2024年2月22日開催予定の臨時株主総会に、第1号議案「株式併合の件」及び第2号議案「定款一部変更の件」をそれぞれ付議する旨の決議をいたしました。

なお、当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)は、上記手続の過程において、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の有価証券上場規程に定める上場廃止基準に該当することとなります。これにより、当社株式は、2024年2月22日から2024年3月24日まで整理銘柄に指定された後、2024年3月25日に上場廃止となる見込みです。

詳細については、2024年1月23日付で公表した「株式併合、単元株式数の定めの変更及び定款一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

(自己株式の消却)

当社は、2024年1月23日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議いたしました。

詳細については、2024年1月23日付で公表した「自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照ください。